

鈴木 宙夢

Suzuki
Hiromu

あびら教育プラン推進員
遊びプロモーター

令和元年度の「遊びプロ推進員」の石川恵理さんの後任として、遊育事業を引き継いで活動を進めてまいりました。令和2年度の遊育事業では「子どもの意見を元にしたイベント」を計23回行い、親子合わせた参加者数は述べ436人となっています。その他、追分駅前のコミュニティスペース「エントランス」では、毎週水曜日と金曜日の放課後に「ぶれいば」という遊び拠点を作り、主に追分小学校の子どもたちが遊びに来るようになりました。また、同じく追分地区にあるガンケ山でもプレーパークのイベントを定期的に開催し、千歳や苦小牧など町外からも親子で参加してくれるようになってきました。令和2年度は新しくパンフレットを作成したり、「遊育通信」を作成してSNSでお届けしたりなど、情報発信にも力を入れてきました。緊急事態宣言が発令された際には安平町ユーチューブで遊び動画を出したり、あびらチャンネルにも定期的に出演させていただいています。それもあり、追分小学校の児童数の50%以上が遊育のイベントや取り組みに参加してきています（1年生に限ると90%以上が参加しています）。令和3年度も引き続き安平町に遊び拠点を作りつつ、追分地区以外での活動も行っていきたいと思っています。



遊育は

こちらから



木下 知佳

Kinoshita
Chika

シテイプロモーション推進員

「広報あびら」と「広報笑顔」の編集、そしてフェイスブックでの情報発信を行っています。フェイスブックでの情報発信は週3回を基本とし、令和3年2月20日の時点で、110記事を更新しました。

広報紙の編集には令和2年6月から携わり、文章の修正や入稿作業を主に行っていますが、広報あびら7月号の手ぶらキャンペーン特集では紙面に使用する写真撮影を、8月号のアサヒメロン特集では新規就農者の対談や豆知識のページを担当。11月号からは「町民の方に、役場の業務をより知ってもらおう」と「役場職員に聞く」という企画記事の連載を5回にわたり行いました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が多く、残念な1年に。令和3年度は、自分自身のレベルアップに努めながら、シテイプロモーションを意識したフェイスブックでの投稿に力を入れていきたいと思っています。



フェイスブックは
安平町
こちらから

